

市役所や消防本部、保育所など総社市の施設で今夏、インターンシップ（就業体験）に臨んだ大学生が、体験を通じて感じた課題を解決する政策を市に提言した。新しい観光プランや妊婦への助成拡

大、空き家の学生向け住宅への改装など、若者らしい着眼点でアイデアが示され、市を感心させた。市は可能な範囲で政策に反映させることにしている。

（古川和宏）

# 若者視点で政策提言

## 総社でインターンシップの大学生



市長らの前でインターンシップを踏まえた政策を提言する県立大生

きよね認定こども園で園児の世話をする学生＝8月22日



インターンシップ生は、市秘書室、こども課、政策産に食品工場などの見学も県立大（総社市窪木）、く調整課、総社保育所、きよね 加え、「将来を担う子どもらしき作陽大（倉敷市玉島 ね認定こども園などで実際、たちに地元に着きを持って長尾）（川崎医療福祉大（倉敷）の業務を体験した。 もらいたい。市外の人には、敷市松島）、中国短大（岡山 県立大デザイン学部3年 総社の魅力を発信できる」山市北区庭瀬）、京都産業 多田麻佑子さんは、子どもと売り込んだ。このツアーに市の予約型大（京都市）の5大学の学 を対象にした市内観光ツアー 乗り合いタクシー「雪舟く生計49人。8月9日～9月1を提案。鬼ノ城や宝福寺、 9日のうちの5～10日間、 備中国分寺といった歴史遺 んの活用を提言したのは、

## 観光や空き家活用、子育て

同大情報工学部3年花巻大 ている県立大生を呼び込み 成さんと同4年末紗来良さる。市内のにぎわいも創出 ん。「総社の観光地巡り できる」と話したのは、県 は車での移動が便利。雪舟 立大デザイン学部3年小野 くんを使えば、安価にソア 瑞貴さん。 が提供でき、外国人観光 同大情報工学部3年神崎 客も利用しやすい」と話し 勇人さんは、高齢者サロン としての活用を提案。「空 市が力を入れる子育て支 家をコミュニティハウス 援については、さらなる拡 スのようにリフォームし、 充を求める意見も出た。く 学童保育の機能も加えて、 らしき作陽大子ども教育学 子どもからお年寄りまで世 部2年渡邊歩光さんは施策 代を超えて交流できる場が 育児中心になっていると しては」と述べた。 提言は9月下旬、大学別 し、「もっと出産前のサポ ートが必要」と指摘。「子 に成果報告会を開き、学生 どもがでずいに悩む女性ほ 一人一人が片岡聡一市長を 多い。カウンスリングの機 はじめ市幹部を前に発表し 会の増加や不妊治療への助 成を考えてほしい」と要望 した。 発表を聞いた片岡市長は 「具体的で説得力のある提 言が多かった。学生の声を 全国的に増加している空 き家の活用策には、多く 真剣に精査し、市政に反映 の学生が言及し、問題への できるものは積極的に取り 関心の高さをうかがわせ 入れたい」と話した。 総社市は2009年から 「空き家をリノベーション インターンシップの学生を ンして学生向けに貸し出せ ば、岡山、倉敷市に下宿し 受け入れている。